

ポストコロナ時代のモンゴル社会と環境

Mongolian society and environment in post-COVID19 era

日時: 2023年6月18日 13:00 ~ 17:00

会場: 明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー15F 1156教室

使用言語: 日本語および英語

PROGRAM

13:00 Opening Speech

13:10 – 13:40 “From human-animal coexistence to the perception of climate change: a sensory approach to Mongolian nomadic pastoralism”

Charlotte Marchina
(Institut national des langues et civilisations orientales)

Tea Break

13:55 – 14:25 「ポストコロナのモンゴル牧畜社会——災害復興の観点から」
尾崎 孝宏 (鹿児島大学)

14:25 – 14:55 「パンデミック後の牧畜地域生活
——畜産物の取引に注目した予備的調査報告」
寺尾 萌 (鹿児島大学)

Tea Break

15:10 – 15:40 「モンゴルのアイラグ(馬乳酒)の製法の変化が意味することについて」
森永 由紀 (明治大学)

15:40 – 16:10 「モンゴル国カザフ人社会における饗応の増加とその背景
——バヤン・ウルギー県を事例として」
廣田千恵子
(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター／日本学術振興会PD)

16:10 – 16:50 Comments & Discussion

16:50 Closing Speech

主催: 日本学術振興会 英国との国際共同研究プログラム ポストコロナの内陸アジア牧畜民社会に関する比較研究
共催: 明治大学遊牧科学研究所／科研費・基盤研究(B) モンゴル遊牧民の食習慣の変化が腸内フローラへ及ぼす影響

お問合せ: 尾崎孝宏 (鹿児島大学) e-mail: ozakit@leh.kagoshima-u.ac.jp